

2024年4月8日掲載 物流ウィークリー

第一貨物（米田

総一郎社長、山形県山形市）は1日、2024年度入社式を実施。今年は、事務職44人、運転職33人、整備職6人、ロジオペ職19人、合計102人の新入社員が入社した。

米田社長は「本

第二貨物 新たな中央研修所

入社式と研修開始

日から本格稼働となるこの新研修所で、皆さんを迎えられること、大変嬉しく思っています。4年連続で100人超の社員が入社しています。皆さんは当社で活躍する名譽ある

祝 新入社員



米田社長の訓示

「我々は総合物流サービスを安定的かつ発展的に提供し続けることで、社会を支え、

わす、入社した全ての社員が同施設で研修を受講。3月25日から事務職が、4月2日から

運転職を含むその他職種の新入社員が研修を開始している。

同社の中央研修所は1962年に創設（山形市）以来、人材育成と企業内学校（流通技能専門学校）を担う重要な役割を担ってきた。1973年に天童市へ移転してから約50年が経過し老朽化が進んだことから、同施設を一新した。

新たな中央研修所には、物流技能の実践教育施設である実技訓練棟（模擬物流センター）と模擬トラックターミナルを設置）を新設。従来の座学実習、運転コースを活用した運転技能訓練等に加えて、より実践的な物流技能の習得が可能となった。（三村秀寿）

役割を担っています。本日から2024年度が始まります。皆さんの活躍に大いに期待しています」と訓示を行った。

同社ではこの日、建替えを終えた中央研修所（同天童市）で入社式を開催。職種を問

ない存在です」